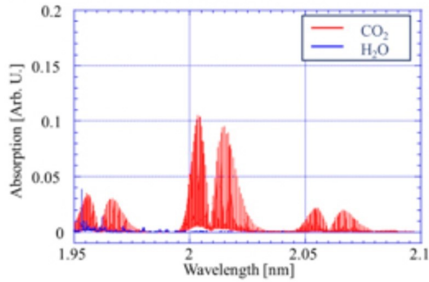
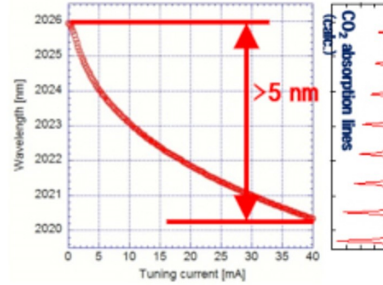


## 光源の特長

2  $\mu\text{m}$ という波長帯は水の影響が少なく  
二酸化炭素検出に適しています

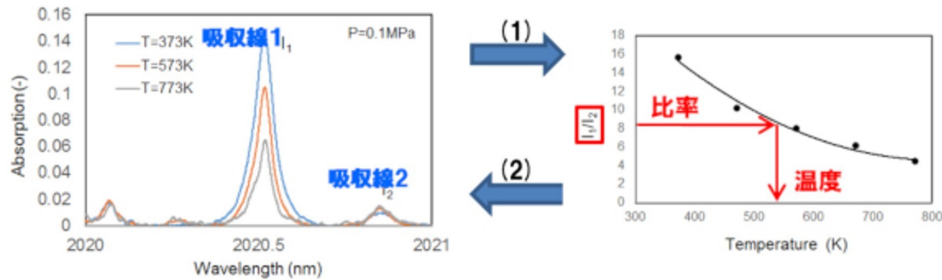


5 nm連続波長を変えられるので、  
複数の吸収線を測定できます



## 温度計測

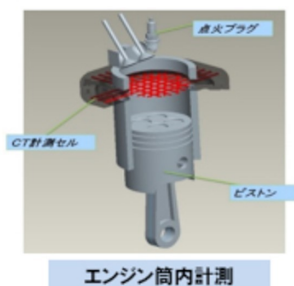
(1) 吸収線1と2の比率と温度の関係を予め計測



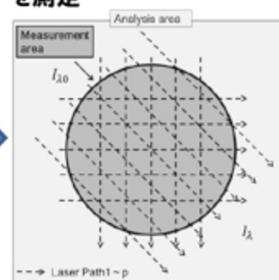
(2) 実際の系の吸収線1と吸収線2の比率から温度を割り出す

## 燃焼状態解析(徳島大学との共同研究)

(1) エンジン(模型)の横方向から網目状に光を入射



(2) 縦横斜めからスペクトルを測定



(3) データベースを用いて温度分布を可視化

